

白峰会のあゆみ

明治32年	7月	アメリカ・メソジスト教会女性宣教師ヴァン・ベッテン女史の援助により、横浜市南区八幡町に、二宮ワカ女史が警醒小学校附属教育所（中村愛児園の前身）を創設。
明治38年	3月	横浜市中区西竹の丸に相沢託児園（高風保育園の前身）設置。
大正12年	9月1日	関東大震災により相沢託児園倒壊。
大正13年	2月	警醒小学校附属児童教育所建物を修復、中村愛児園と改称、保育事業を開始。相沢託児園園舎新築、保育事業再開。
昭和5年	10月25日	二宮ワカ逝去（69歳）。
昭和6年	4月	平野恒が中村愛児園、相沢託児園園長就任。
昭和8年	7月	横浜市南区八幡長11番地に、中村愛児園園舎（木造地下一階地上二階建）新築移転、乳児部開設。
昭和10年	8月5日	春光園母子寮（木造平屋建）を設置。平野恒、寮長就任。
昭和12年	11月	中村愛児園、相沢託児園で給食開始。
昭和15年	12月	横浜母性学園を設置。平野恒、園長就任。
昭和16年	2月15日	横浜保母学院設置申請。
	6月30日	横浜保母学院設置認可。
昭和19年	10月	皇后陛下より中村愛児園にご下賜金を賜る。
昭和20年	3月	神奈川県中群成瀬村の関泉寺に中村愛児園、相沢託児園の幼児疎開を行い「青々園」開園。
	5月29日	空襲により全施設焼失。（中村愛児園、相沢託児園、春光園母子寮、横浜母性学園、横浜保母学院）
昭和21年	2月18日	皇后陛下のお召しにより、平野恒、宮内省にて拝謁。事業について言上。
	3月7日	皇后陛下、金沢郷内の母子寮、保育所をご視察。横浜市所有の高風寮について半井市長に懇請、戦災、引き揚げによる生活困窮の母子及び孤児、浮浪児を収容保護。高風子供園設置。
	10月	中村愛児園園舎（木造地下一階付平屋建）を新築、保育再開。
	12月14日	第一回ララ物資の配分を受ける。
		この年ララ救援物資中央委員会委員（昭和27年まで）。
昭和22年	4月	横浜保母学院は高風寮食堂を仮校舎として昼間授業再開。高風寮内に高風保育園を設置（旧相沢託児園）。保育開始。
	6月19日	高風寮（母子寮、子供園）は生活保護法による保護施設として認可。
	6月	藤沢市善行に藤沢寮を設置。
	8月12日	財団法人白峰会設置。理事長就任。
昭和23年	5月	横浜市南区平楽133番地に白峰会本部建物（木造平屋建）を新築。横浜保母学院を仮校舎（高風寮）より移転。
	8月6日	前記本部建物内に白峰会診療所を設置、認可。
昭和24年	1月	白峰会本部内にララ物資クローズイング・ステーション開設。
	3月13日	高松宮殿下、中村愛児園、横浜保母学院をご視察。
	4月1日	横浜保母学院は横浜保育専門学院と改称。神奈川県と事業委託契約を締結する。
	4月	高風子供園が児童福祉法による養護施設として認可。
	6月	中村愛児園、高風保育園が児童福祉法による保育所として認可。
	11月	ユニセフにより脱脂粉乳、全乳、キャンディその他の援助物資日本到着、配分を受ける。
昭和25年	8月	高風寮における母子寮を廃止し、藤沢寮に合併。
昭和27年	4月	ララ物資援助終了、米国基督教児童福祉法（CCF）より援助を受ける。
	5月	社会福祉事業法に基づき、財団法人白峰会を社会福祉法人に組織変更、平野恒、理事長に就任。
昭和28年	4月	藤沢寮を藤沢市に移管。
	7月	白峰会本部内の白峰会診療所を横浜市南区中村町三丁目170番地に移転、夜間診療開始。

昭和30年	4月	中村愛児園園舎を増改築、定員変更127人。
	8月	高風子供園園舎の一部改修、定員変更60人。
昭和31年	4月	朝日新聞「親探し運動」により高風子供園児1名、実父母の許に帰る。
昭和33年	5月	白峰会本部内に白峰会児童相談室を創設。
	12月	朝日新聞「親探し運動」により高風子供園児1名、実母の許に帰る。
昭和34年	9月	白峰会創立六十周年を記念して「白い峰」——白峰会六十年の記録——を出版。
	10月12日	秩父宮妃殿下のご臨席をえて、白峰会六十周年並びに横浜保育専門学院二十周年の記念式典、記念祝会、展示会を開催。併せて児童福祉法制定二十周年を記念して記念行事を行う。
昭和37年	9月	横浜保育専門学院、校舎（県有財産）を横浜市南区中村町四丁目272番地に新築移転（定員変更200人）。
昭和38年	11月	高風子供園、保育園園舎を新築・落成（RC造、=鉄筋コンクリート造、一部二階建）。神奈川県社会福祉婦人懇話会を結成。平野恒、会長に就任。
昭和39年	10月20日	白峰会児童相談室、社会福祉事業法に基づく施設として認可。
昭和41年	1月25日	横浜保育専門学院を教育機関として分離。学校法人白峰学園を設置、横浜女子短期大学（保育科）を設置、定員100名。平野恒、理事長就任。
	4月	高風子供園をテーマとしたTBSテレビドラマ木下恵介劇場「記念樹」として放映（昭和42年2月まで）。
昭和46年	7月22日	児童憲章制定20周年を記念して「明日に生きる子どもの絵展」を開催（横浜市中区伊勢佐木町、有隣堂ギャラリー）25日まで。
昭和48年	7月	中村愛児園園舎全面改築落成、定員変更（127人→200人）。
昭和54年	5月20日	平野恒、神奈川新聞社の依頼により「わが人生」執筆、43回連載（昭和55年3月9日まで）。
	6月4日	国際児童年記念・日米交歓会を高風子供園において開催。
	12月22日	国際児童年記念「児童福祉施設の子どもの写真展を神奈川県、神奈川県社会福祉婦人懇話会、横浜女子短期大学共催で開催（於、神奈川県政総合センター）25日まで。
昭和57年	1月	「児童福祉とわが人生」出版（神奈川新聞に43回に亘り連載）。
昭和59年	10月	第1回「美しき躍動」開催。爾来今日まで年中行事として継続。
昭和62年	11月	平野恒 勲3等瑞宝章受章。
昭和64年	1月	昭和天皇ご崩御により元号が平成となる。
平成8年	4月	平野建次、横浜女子短期大学附属幼稚園園長就任。
	10月	横浜女子短期大学創立55周年記念式典開催。
平成10年	1月	平野恒逝去（99歳）。
	2月	平野建次、理事長就任。併せて学校法人白峰学園理事長・学長となり、現在に至る。
平成20年	10月	全国社会福祉協議会100周年を記念し、天皇・皇后陛下御臨席のもと、社会福祉事業を110年継続されていることで特別表彰。合わせて「感謝のつどい」開催。
平成23年	11月	地域小規模児童養護施設「高風子供園ANNEX」開設。高風保育園第三者評価受審。
平成25年	1月	「白峰保育園」横浜市に平成26年度開設申請。
	8月	福祉新聞に福祉を創った女性たち「神奈川のお母さん 平野恒」の記事が5回にわたり掲載される。
平成26年	4月	「白峰保育園」開園（定員90人）。
平成27年	8月	高風子供園 第三者評価受審。
平成28年	1月	マイナンバー制度導入。
	10月	白峰保育園第三者評価受審。
平成29年	1月	社会福祉制度改革による新定款許可。中村愛児園、高風保育園第三者評価受審。
	10月	新定款一部改正により許可。
	12月	天皇陛下より中村愛児園にご下賜金を賜る。
平成30年	1月	中村愛児園定員変更許可（200人→170人）。
平成31年	1月3日	平野 健次 逝去(82歳)。
	1月25日	中川 緑、理事長就任。